



Title	2019年度活動記録
Author(s)	
Citation	大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2020, 17, p. 47-49
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/91426">https://hdl.handle.net/11094/91426</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 2019 年度活動記録

### ■大阪大学歴史教育研究会・2019 年度例会（＊所属・職名は報告当時のもの）

#### 第 120 回例会（2019 年 4 月 20 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 2 階大会議室）

堤一昭（大阪大学大学院文学研究科教授）

「大阪大学歴史教育研究会 2019 年度活動方針」

桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授）

「入試改革を考える」

#### 第 121 回例会（2019 年 5 月 11 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 2 階大会議室）

早川尚志（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程／日本学術振興会特別研究員 DC）

「過去の環境変動の復元における歴史学の寄与：8 世紀と 16 世紀についての太陽活動復元の試みの事例紹介」

高木純一（日本学術振興会特別研究員 SPD）

「東アジアの「近世化」と日本の村」

#### 第 122 回例会（2019 年 6 月 19 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 1 階中庭会議室）

北村厚（神戸学院大学人文学部准教授）

「拙著『教養のグローバル・ヒストリー』の成り立ちとその後」

コメント：矢部正明（関西大学中部・高等部教諭）

#### 第 123 回例会（2019 年 7 月 20 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 2 階大会議室）

中村翼（京都教育大学教育学部講師）

「古琉球の歴史を／から学ぶ—村井章介『古琉球：海洋アジアの輝ける王国』を手がかりに—」

山内晋次（神戸女子大学文学部教授）

「『日宋貿易と「硫黄の道」』のその後」

#### 第 124 回例会（2019 年 10 月 19 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 2 階大会議室）

深見純生（桃山学院大学国際教養学部元教授）・桃木至朗（大阪大学文学研究科教授）

「東南アジア史用語解説集について」

池田一人（大阪大学言語文化研究科准教授）

「ミャンマーのロヒンギャ問題について—東南アジア大陸西部の「民族」と「歴史」を考える—」

#### 第 125 回例会（2019 年 12 月 21 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 2 階大会議室）

大学院生グループ報告『新学習指導要領解説「歴史総合」の「問い」を考える』

小川莉菜（日本史 M1）・谷垣美有（西洋史 M1）・内藤裕子（東洋史 M1）・向井健悟（日本史 M1）

「欧米で生まれた国民国家は、なぜ日本をはじめ世界へ広がったのだろうか」

石垣萌香（日本史 M1）・浦田光（西洋史 M1）・富谷竜一郎（日本史 M1）・松尾和花菜（文芸学 M1）

「第一次世界大戦は、国際関係をどのように変えたのだろうか」

#### 第 126 回例会（2020 年 1 月 25 日大阪大学豊中キャンパス文学研究科本館 2 階大会議室）

佐藤浩章（大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部准教授）

「探究学習における問いの意義と問いづくりの方法」

皆川雅樹（産業能率大学経営学部准教授）

「歴史教育における「問い」のポテンシャル」

#### 第 127 回例会

新型コロナウイルス問題のため中止

#### ■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が会えるまち・堺 2019」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が会えるまち・堺 2019」プロジェクトを実施し、2019 年 11 月 17 日に研究発表を開催した（会場：堺市立東文化会館メインホール）。

日本学術振興会グローバル展開プログラム「国民国家型の大学歴史教育をグローバル化時代に適応させる方法に関する国際比較」（代表：堤一昭教授）

2019 年 8 月 5 日～6 日にかけて開催されたプログラムの最終シンポジウム（会場：大阪大学中之島センター）において、本研究会代表の桃木至朗、世話役の秋田茂、堤一昭がそれぞれパネルを立てて報告を行った。特に堤教授のパネルでは、本研究会を含む大阪大学の取り組みについて紹介された。同パネルでは事務局員の猪原達生がコメントを行った。

## 大阪大学歴史教育研究会 2019 年度世話役・事務局

### ■代表

桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授）

### ■大阪大学側世話役

秋田茂（大阪大学大学院文学研究科教授）

飯塚一幸（大阪大学大学院文学研究科教授）

堤一昭（大阪大学大学院文学研究科教授）

### ■高校・中学教員側世話役

大西信行（中央大学杉並高等学校教諭）

置村公男（六甲中学校・高等学校教諭）

川島啓一（同志社高等学校教諭）

澤野理（神奈川県立逗子高等学校教諭）

西村嘉高（青山学院高等部教諭）

藤田弘晃（奈良県立奈良高等学校教諭）

矢景裕子（神戸大学附属中等教育学校教諭）

八木啓俊（大阪府立淀川清流高校教諭）

矢部正明（関西大学中等部・高等部教諭）

吉嶺茂樹（北海道立北海道有朋高等学校教諭）

### ■研究会事務局

猪原達生（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程／東洋史学）

森井一真（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程／西洋史学）